

上北沢桜並木会



平成27年9月25日 発行

上北沢桜並木会議

連絡先 代表 石井 昭

上北沢 3-23-10 TEL3303-1524

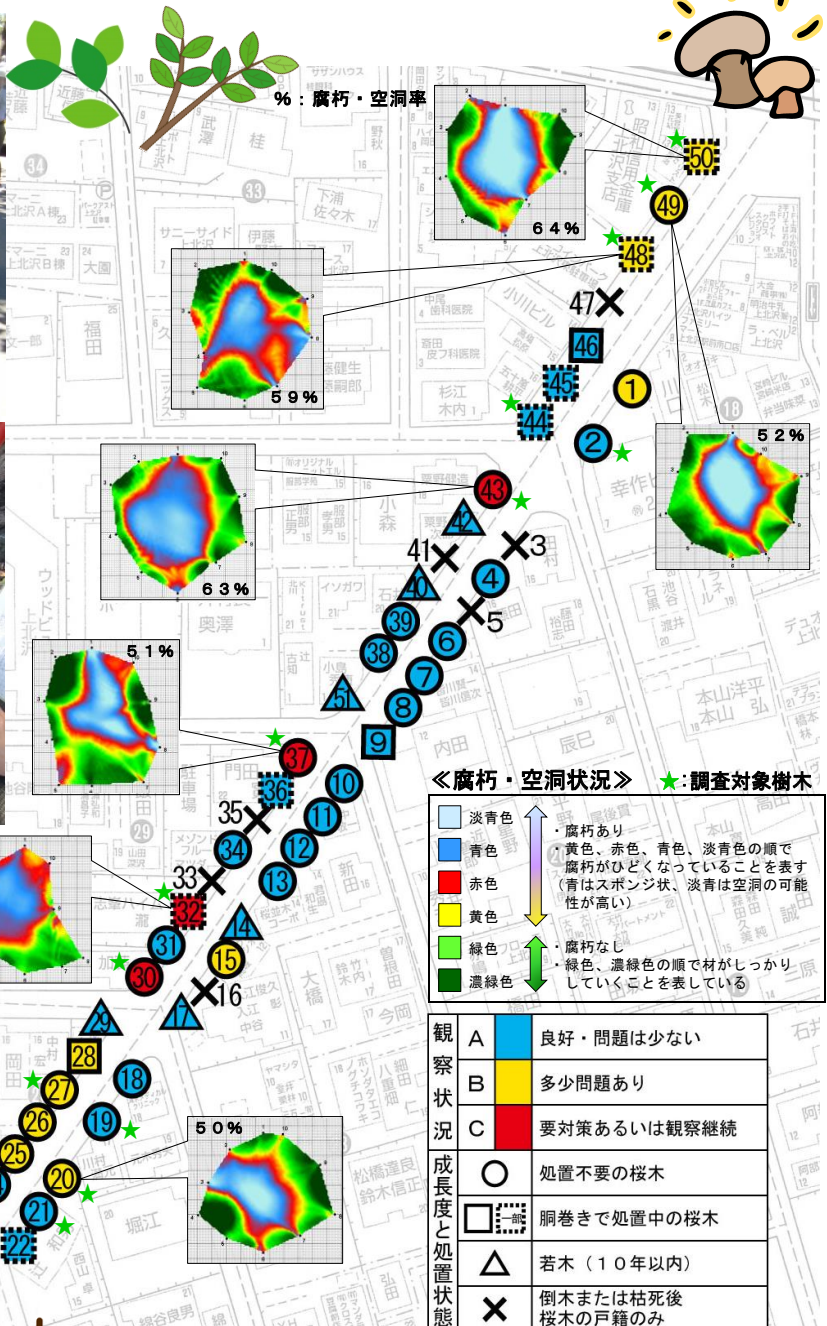
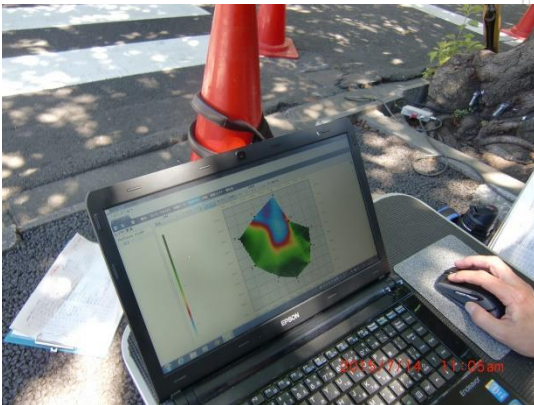
HP <http://www.sakuranamiki.org/>

お問い合わせ: info@sakuranamiki.org



桜並木の画像診断を行いました - 7月14日 -

桜並木は土壌や日照り等の環境問題があり、多くの木が弱っています。今回は、樹木医の判断によって選んだ14本を調査しました。桜の健康状態を判断するのは、枝ぶり、葉の付き具合、キノコの付着等がありますが、幹の中を直接診断することが最も明確な結果が得られます。



今回調査した14本の内、半数にあたる7本の木で腐朽・空洞率が50%以上でした。腐朽・空洞率が50%を超えると、台風等により倒木の危険が少なくないと言われており、何らかの対策を要すると判断されます。



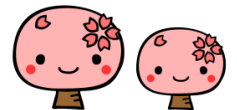
石井樹木医判定(平成27年3月1日)
画像診断調査(平成27年7月14日)



画像診断結果の詳細



- A : 健全か健全に近い
- B 1 : 注意すべき被害
- B 2 : 著しい被害
- C : 不健全



樹木No.	外観的所見	腐朽空洞率 (%)	精密診断判定	今後の対策
2	根元：コフキタケ	35%	B 2	根元のコフキタケが今後進行する可能性があり、短期周期の経過観察が望ましい
19	根元：コフキタケ	41%	B 2	根元のコフキタケが今後進行する可能性があり、重点観察が望ましい
20	幹・根元：ベッコウタケ 打音異常(大) (H0~0.5m)	50%	C	当面は樹冠軽減措置を図るが、最悪の場合は植え替えを検討する
21	根元：マンネンキタケ	24%	B 1	根元のマンネンタケが今後進行する可能性があり、定期観察を要する
25	幹：カウソタケ 根元：樹皮欠損・腐朽 30×50 打音異常(大) (H0~2.0m)	44%	B 2	根元から幹にかけて樹皮欠損・腐朽があり、今後の被害進行の可能性が高く、重点観察が望ましい
27	幹～根元：樹皮欠損・腐朽 250×70 打音異常(大) (H0~1.8m) 幹内部にミツバチの巣あり	34%	B 2	根元から幹にかけて樹皮欠損・腐朽があり、今後の被害進行に注意を要し、短期周期の経過観察が望ましい
30	大枝：コフキタケ 根元：ナラタケモドキ	6%	A	根元と大枝に注意を要するキノコがあり、定期観察を要する
32	根元：ベッコウタケ 打音異常(大) (H0~0.5m)	58%	C	当面は樹冠軽減措置を図るが、最悪の場合は植え替えを検討する
37	根元：ナラタケモドキ、コフキタケ、マンネンタケ 大枝：シイサルノコシカケ	51%	C	
43	根元：開口空洞・腐朽 20×20(芯) 大枝付根・幹：コフキタケ 打音異常(大) (H0~0.8m)	64%	C	
44	幹～根元：樹皮欠損・腐朽(芯)	26%	B 1	
48	根元：ベッコウタケ 打音異常(大) (H0~0.5m)	59%	C	当面は樹冠軽減措置を図るが、最悪の場合は植え替えを検討する
49	幹：コフキタケ 根元：ベッコウタケ 打音異常(大) (H0~1.5m)	52%	C	
50	根元：ベッコウタケ 打音異常(大) (H0~1.5m)	64%	C	

診断：株式会社川端造園 川瀬裕一郎樹木医

- 上の表のとおり、14本中7本で腐朽・空洞率が50%以上であり、それぞれの対策が示されています。
- No.48～No.50 に関しては右頁のとおり、上部を軽くし、強風に耐える対策を行いました。
- No.37 とNo.43 は、来年の花芽観察会で様子を見て、伐採時期を検討します。



No. 37



No. 43





画像診断後の対策(8月20日に対策を講じました)

腐朽・空洞率が50%を超えている桜は、倒木の危険があります。今回の調査では、幹が完全に腐朽して、すぐにでも倒木するというような桜はありませんでした。

No.48～No.50の桜を中心に、基本的には上部の枝を伐採し、全体を「軽くする」ことで対応しました。

立ち会っていただいた石井誠治樹木医による細かい指示のもとに、伐採しました。



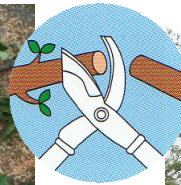
No.49の伐採(かなり太い枝も伐採しました)



No.50の伐採(かなり太い枝も伐採しました)



No.48～No.50で伐採したキノコがついている枝
(撮影：石井樹木医)



No.48～No.50：伐採処理完了後



No.3の桜を伐採しました -8月20日-

伐採した後の根をみると、「ナラタケモドキの菌」が繁殖していました。その影響で枯れてしまいました。

この付近の土壌は菌に侵されていることが判っていますが、全体の土壌改良は不可能であるため、次に植える場合も菌に強い樹種を選択する必要があります。現在、樹種を検討中です。今年の10月～11月に植える予定です。



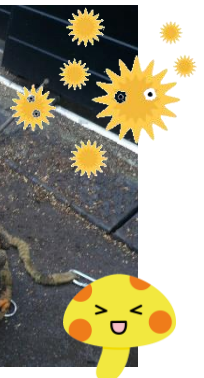
No.3：上部を伐採した後



No.3：下部を伐採した後の根の処置



No.3：根の部分



「上北沢駅周辺地区まちづくり協議会」からの **お知らせ**

- 京王線の鉄道立体事業が進められている中で、上北沢駅周辺地域を対象とした「まちづくり協議会」が住民（一般住民、商店主等）と行政（世田谷区、杉並区）および有識者で進められています。
- 協議会は平成21年に始まり、いままで57回の会合を行い、『次世代にも住みよいまちにする』ことを目標とする「街づくり提案」をまとめています。しかしながら、問題点・課題も多く、さらに協議を進めていく予定です。
- また、隣接地の計画である「桜上水駅周辺地区まちづくり計画」との連携を図ることも課題となっている。
- 第58回(次回)協議会
 - ・日時：10月15日(木) 19時～21時
 - ・場所：上北沢まちづくりセンター（八幡山駅徒歩2分）
- 連絡先
 - ・協議会事務局：〒156-0057 世田谷区上北沢5-13-7 新井方
 - ・世田谷区：烏山総合支所街づくり課 ☎3326-9618
 - ・杉並区：都市整備部まちづくり推進課 ☎3312-2111(代) (内)3383



「地域風景資産」に関連する **お知らせ**

- 平成14年～25年に行われた3回の調査で、「地域風景資産」の数は86件です。川豊彦と松沢の教会・幼稚園・七沢地域では11件あり、「緑丘の困い松」の兄弟松「古道・滝坂道」等があります。
- 担当課である世田谷区都市デザイン課では、今年度には以下の計画があります。
 - ・「せたがや風景クイズラリー2015」（10月15日～11月30日）
 - ・「まちあるき」（10月～11月）
 - ・「都市デザインフォーラム2016」（平成28年3月上旬～中旬）
- 問い合わせ先：世田谷区都市整備部都市デザイン課 ☎5432-2039

・桜並木の画像診断を行いました
-7月14日-



皆様から27年度の活動資金のご協力をいただきました

9月25日現在、107人・社の方から234,000円の会費をいただいています。

上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にすることを種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：石井 昭 TEL:3303-1524



- 桜並木会議が行う月例会(第3火曜日18:00～)や行事等に、是非ご参加下さい。会議の場所はHP (<http://www.sakuranamiki.org/>) をご覧下さい。
- 桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) で報告していますので、ご覧下さい。

